

2025（令和7）年2月14日

各 位

会 社 名 エ ヴ ィ ク サ ー 株 式 会 社
（コード：4257 TOKYO PRO Market）
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 瀧 川 淳
問 合 せ 先 管 理 部 長 内 田 優 希
TEL 03-5542-5855（代表）
URL <https://www.evixar.com/ir>

通期連結業績と前期との差異に関するお知らせ

本日、当社は2024年12月期の連結業績について決算短信を公表しましたが、前年同期業績との差異が大きい
ため、その概要について下記の通り、お知らせします。

記

1. 2024年12月期連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

	売上高	営業損失	経常損失	親会社株主に 帰属する 当期純損失	1株当たり 当期純損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年12月期実績（A）	151	△123	△126	△127	△45.07
2024年12月期実績（B）	214	△90	△93	△95	△33.19
増減額（B-A）	62	31	32	33	
増減率（%）	41.5%	－	－	－	

2. 修正の理由

通期連結業績にきましては、当連結会計年度において、映画を中心としたエンターテインメント関連の事業が堅調に推移するとともに、引続き、既存事業の梃入れを行いつつ、4つの「新技術」（①Webブラウザ対応、②用途追究「収益型ペンライト・グッズ開発」、③パッケージ化によるサービスの輸出入展開、④社会課題解決に関連する官公庁系助成）に取り組み、将来的な成長に向けた投資を積極的に行いました。

その中で、②用途追究「収益型ペンライト・グッズ開発」はNPB、Vリーグ等プロスポーツ業界に定着し、④社会課題解決に関連する官公庁系助成は総務省の生成AI分野における開発・実証事業（令和6年度「インターネット上の偽・誤情報対策技術の開発・実証事業」）に採択される等、「新技術」の社会実装が進み、売上高は214百万円（前期比41.5%）となりました。

以上の結果、売上高および営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失それぞれ前期実績との間に差異が生じております。

以上